

宮津まちなかの文化財を巡る
 〈宮津のまちは百花繚乱〉

上質の

古くから城下町・港町として栄えた宮津。
 この宮津に、特に江戸時代後期に活躍した
 円山・四条派をはじめとする京都画壇や宮津の絵師たちが、
 社寺や旧家に彩りを添えていきました。

文化が

まさにこの時代の宮津は、京都画壇を中心とした絵師による
 百花繚乱と呼ぶにふさわしい時代でした。
 これら社寺に遺されている絵画とあわせて、
 史跡や建物等を巡り、
 宮津全体の文化の質の高さを感じてください。

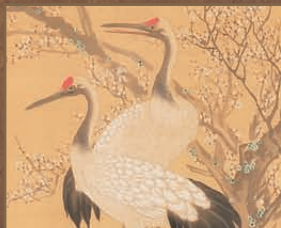
香る。

～ 特別展 ～

旅館 清輝楼「小さなちいさな美術館」

重要文化財 旧三上家住宅

[期 間] 平成 20 年 10 月 1 日(水)～11 月 30 日(日) ※常設展示は年間を通して
 ご覧いただけます。
 [時 間] 午前 9 時～午後 5 時
 [観覧料] 無料
 [定休日] 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は、翌日)
 [内 容] 江戸後期、智源寺本堂天井画
 「紙本著色草花園」二十面を描き、また、
 宮津のまちなかの社寺に作品を遺した
 円山応瑞・岡本豊彦ほか、京都画壇の
 絵師たちが当旅館に遺した作品の一部を
 特別展示。



高砂(部分)掛幅・三幅
 土佐光貞筆

お問合せ 旅館 清輝楼 TEL.0772-22-4123

[期 間] 平成 20 年 10 月 10 日(金)～10 月 19 日(日) ※常設展示は年間を通して
 ご覧いただけます。
 ●無休
 [時 間] 午前 9 時～午後 5 時
 ※入場は午後 4 時 30 分まで
 [観覧料] 一般 350 円 (300 円)
 小・中学生 250 円 (200 円)
 ※() 内は 15 名以上の団体料金。
 [内 容] 江戸後期の京都画壇の絵師、
 円山派の長澤蘆洲が描いた当住宅の
 庭座敷仕切り襖となっていた「白梅に
 鶏雀図・襖絵」を展示。



白梅に鶏雀図(部分)
 長澤蘆洲筆

お問合せ 重要文化財旧三上家住宅 TEL.FAX 0772-22-7529